

Koyo Jr. Monthly Times



和歌山県立向陽中学校

令和3年1月号

生徒会役員での活動が始まります！！

1月5日、生徒会役員交代式が行われました。式では、旧役員一人ひとりが、生徒会新聞や裏門の花壇の世話などの活動について、一年間の自分の成長、みんなへの感謝の気持ちなど、任務を終えての想いを語り、新役員へ激励の言葉を贈りました。新役員は宮土涼馬君(会長)、山本 宮さん(副会長)、中村周音さん(副会長)、林 亜依さん(書記)、三好莉央奈さん(会計)の5人(前列の5名)。新役員を代表して宮土会長は、力強く抱負を語ってくれました。最後に、向陽中の成長の象徴である「向日葵の種」を前会長の岡室君から、引き継がれ、向陽の伝統を感じ新役員は気持ちが引き締まったようでした。新役員には、中学校のために頑張ってくれるものと期待しています。来年も大きな向日葵を咲かせてくれることでしょう。



オンライン開催にも頑張る向陽生

21日に今年で8回目となる「科学の甲子園ジュニア」がオンラインで開催されました。理数教育に重点をおく本校としては、大切にしてきた大会です。今年はオンラインによるエキシビジョン大会開催となりました。本校も、第3回大会で県代表として、全国大会に出場しています。また、昨年度は現中2生のチームが県準優勝しています。今回は、9チーム(54名)が参加し、お互いの姿は見えないけれど、全国の仲間と共に理数の難問に挑みました。



また、先日より全生徒がネット上で「わかやまふるさと検定」を受検しています。こちらは和歌山県が主催しているもので、30問の和歌山についての知識をクイズ形式で答えます。正解数に応じて「級」が認定されます。知っているようで知らない「ふるさとわかやま」について、新しい発見があったようです。

クラブでは、年末に理科部の伊藤君・溝上君・岸田君が「サイエンスキャッスル関西大会」(中高生の学会)に口頭発表部門で参加し(写真)、当日は「離島・都市部との比較から見る里山環境」というタイトルで発表し優秀賞を受賞しました。準備ではオンラインで主催者の方と2回ミーティングを行い、発表はネット配信されました。また、ポスター発表部門では、山木君が「陸のマイクロプラスチック調査」について自宅からzoomで参加し、奨励賞を受賞しました。またロボットの分野でオンライン開催された



「WRO Japan 2020 R-Sports Challenge」に参加、課題に対してのロボットの完成度を動画で競いました。1年生の南君、井村君、出口君、木村君のチームが、「神奈川工科大学&富士通ラーニングメディア賞」を見事受賞しました。コロナ禍による新しい形式の大会にも、柔軟に対応し成長を続けています。これからも、頑張れ向陽生！！